



千葉動力車

6/23 反戦・反安保 沖繩集会へ!

来る、六月二三日、反戦共同行動委員会主催による、「基地をなくせー安保をつぶせー沖繩と連帯する六・二三全国集会」が、東京・芝公園で開催されます。

この闘いは、アメリカ帝国主義(米帝)、日本帝国主義(日帝)、による朝鮮・中国侵略戦争と対決する闘いです。先日、ミグ一九による北朝鮮空軍士官の亡命など、現在、米帝の軍事重圧によって、食料危機を始めとした、北朝鮮の体制崩壊の危機が深刻化しています。事実、米帝は、「(北朝鮮が)体制を維持することが困難で、六、七カ月もつかどうか」として、朝鮮侵略戦争への突入に向けた準備を開始しています。北朝鮮の崩壊過程を自己のコントロールのもとに置き、南北朝鮮の米帝による全一的支配をめざしているのです。

一方日帝は、米帝によるアジアからの追い出しに抵抗し、独自の侵略戦争遂行能力の形成とアジアの勢力圏化に向けて、また、アジアにおける巨大な資本の利益を守るために、米帝の朝鮮・中国ーアジア侵略戦争に全面協力することをおして、日帝自身の参戦をめざしているのです。

ここには、帝国主義経済の危機の中で、最後の市場である、アジア・太平洋の支配をめぐって、勢力圏をめぐっての日米帝

の非和解的対立があり、日米帝は、対立・争闘しながら、朝鮮・中国ーアジア侵略戦争へ突入せんとしているのです。

朝鮮侵略許すな

そのための決定的エスカレーションが、去る、四月一七日のクリントン米大統領来日のおり、日米首脳会談で合意された「日米安保共同宣言」、日米安保の大改定です。

それは、日米の朝鮮・中国侵略戦争への具体的な共同作戦の確立が決定されたということですから。朝鮮侵略戦争勃発となれば、九一年の湾岸戦争で、サウジアラビアが米軍・多国籍軍のイラク空爆の出撃基地となったように、沖繩ー本土の米軍基地、自衛隊基地、さらに民間空港が朝鮮半島への空爆出撃基地となり、ACSA(物品役務融通協定)をおして、米軍の後方支援に日本の労働者が総動員されることになるのです。

しかし、これを貫徹するには、日本の労働者階級の戦後的諸権利、反戦平和意識の掃なしには不可能です。ゆえに、日本の支配階級は、何年もかけて分割・民営化の強行、国鉄労働運動の解体、総評の解散などをおして、労働者階級の抵抗拠点をつぶそうとしてきたのです。

安保・沖繩・国鉄で闘おう!

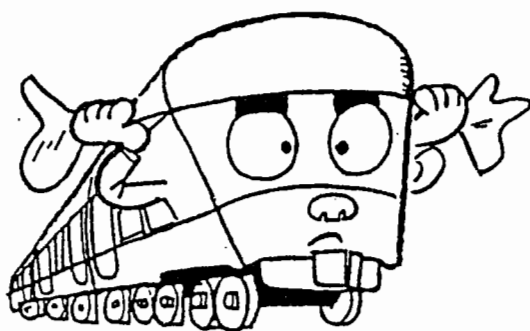
しかし、我々動力千葉と、国鉄清算事業団一〇四七名を先頭とした不屈の闘いは、分割・民営化攻撃の大破産をつきつけ、「大失業時代に抗する」労働運動の新たな潮流をつくりだしています。

そして、知花昌一さんの闘いを先頭とした、四一五月沖繩闘争の高揚は、日米安保体制の破綻点に決定的な楔をうちこんでいます。五月一四日、知花さんは家族や友人とともに、堂々と米軍楚辺通信所(象のオリ)の中の土地に入りました。来年五月には反戦地主の土地の大量期限切れを迎え、安保・沖繩闘争の大高揚は不可避です。

敵の攻撃も激化しています。国鉄闘争をめぐっては、JR当局とJR総連革マルとの組織攻防戦。沖繩には、米軍用地の強制使用継続のための特別立法を策しています。

ここを攻防の焦点として、安保・沖繩闘争と国鉄決戦をガツチリ結合させ、文字どおり「戦争と大失業攻撃」と抗する闘いを大爆発させよう!

現場における不当労働行為根絶、労働安全確立の闘い、夏季物販をやりきり、六・二三反戦・反安保・沖繩闘争に総決起しよう!



スヶジュール

六／五 動力千葉総決起集會

6月5日(水) 18時から
千葉市民会館

六／二三

沖繩と連帯する全国反戦集會

基地をなくせー 安保をつぶせー
六月二三日(日) 正午
東京・芝公園